

友永綾美



和太鼓・篠笛・その他、舞・唄・作詞・作曲・編曲

あらゆる芸能・芸術の経験を活かし、「打つ・吹く・唄う・舞う」という、楽器とパフォーマンス両方での表現ができる数少ない奏者として、幅広く活動。多様なジャンルの伴奏・アレンジ・楽曲制作は勿論、北海道千歳鷹狐神楽の振り付け・作曲、沖ノ島神明社奉祝記念曲作曲など、伝統継承、復活、再生の依頼も多い。女性プロユニット『和楽-WAGAKU-』代表。その他、多種ユニットを率いる。特に歌うような篠笛の音色には定評がある。

1969年 名古屋市生まれ。 幼少から音楽教育を受け、学生時代は作詞コンクールで数回受賞する他、演劇、マーチングバンドなどでも芸術表現を学ぶ。その後、クラブシンガー、ファッションモデルなどを経て26歳で和太鼓に出会い、付随して、民舞、江戸寿獅子(囃子手・舞手)・民謡・地域のお囃子など伝統芸能の数々も習得し、格式ある美や情緒あふれる古典芸能のレパートリーを培う。

2000年、名古屋初の和太鼓プロ団体『打歎人』のスターティングメンバーとして抜擢、打楽器の基礎を習得。翌年、名古屋初、女性みのプロユニット『和楽-WAGAKU-』の基盤となるユニットを立ち上げる。その後は、日本を代表する和太鼓団体『鬼太鼓座』の客演奏者としての参加(2002～2004年度)や、ジャンルを問わずアーティストとの共演、伴奏、ゲストなどで活躍。

2008年、自身の作詞・作曲・編曲による、和楽器をメインとしたJ-POPS『蓮咲美称(れんしょうびしょう)』が、初のシングルCDとして発売される。

2009年、PS2ゲームソフト『東京魔人學園伝奇 10周年～風詠みて水流れし都～』の記念コンサートでは、和洋総勢24名のオーケストラに篠笛奏者として出演。

他にも、劇中音楽の生演奏や、難易度の高いフラメンコ音楽の生伴奏、(篠笛・打楽器奏者として)など幅広い対応力、即興力を発揮している。

2012年には、和楽-WAGAKU-の長年の功績が認められ、『第27回パチンコ大衆文化・福祉応援賞』を受賞。他にも、母娘奏者の人生が話題となり、NTT Docomoの雑誌広告『イエラブゾク』、BSジャパン『グッドマザーズ』、他、TV番組・TVCM・ラジオ他メディア・講演会の出演も多数。(財)エイズ予防財団を始め、数々の社会的活動にも協力している。

